

平成30年度

買物傾向調査報告書

市民アンケート概要版

四日市市商工課

調査の概要

1. 調査目的

四日市市にお住まいの皆様に対して、購買動向や買い物における感想、意識について調査することにより、地域別、商品別の商圈の実態を把握し、より有効な商業活性化、買い物拠点の再生に向けた支援施策のための基礎資料とするとともに、既に実施した施策の効果を図る際の参考とする。

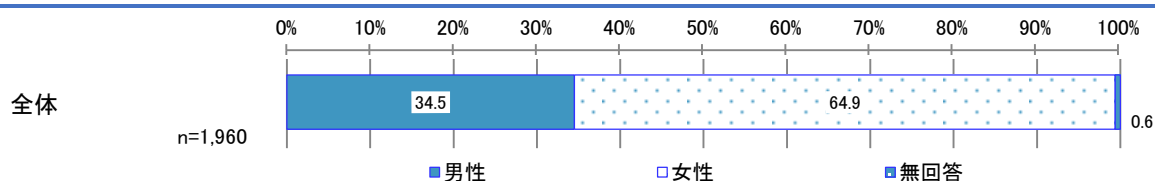
2. 調査方法

四日市市民から無作為に7,000名を抽出し、郵送による発送、回収にて実施。

発送数	回収数	回収率
7,000 件	1,960 件	28.0%

回答者の属性

性別



年代



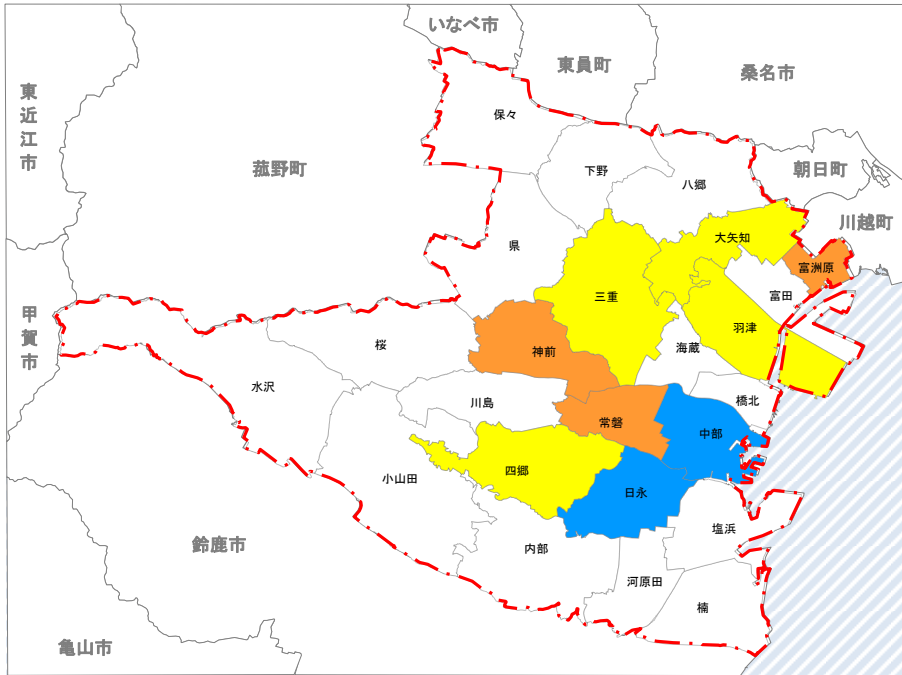
調査結果

過去一年間で買い物した店舗・地域（品目別）（品目ごとに回答はひとつずつ）

買物先購入率

- 全購入品目を合計した買物先購入率について、「中部地区」が63.0%と最も多く、次いで「日永地区」（43.9%）、「富洲原地区」（27.6%）、「常磐地区」（25.2%）、「神前地区」（22.5%）の順となっており、大規模店のある地区や小中規模店の多数ある地区の購入率が高くなっている。

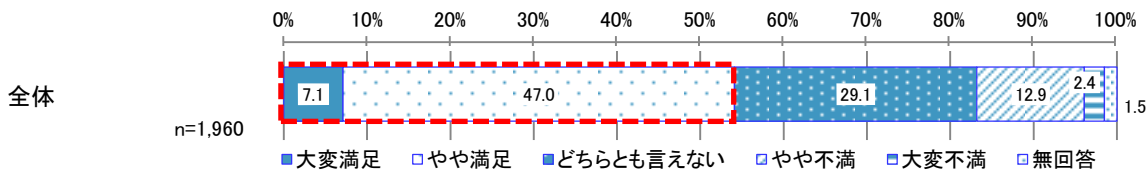
全購入品目を合計した買物先購入率



※購入率は地元から地元への買物も含む

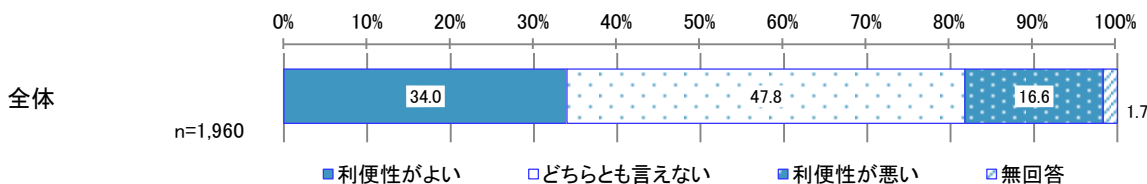
四日市市内での買い物についての満足度（〇はひとつ）

- 四日市市内での買い物についての『満足度』は 54.1%となり、半数を超える回答者が四日市市内での買い物について満足と回答している。



四日市市内での買い物についての利便性（〇はひとつ）

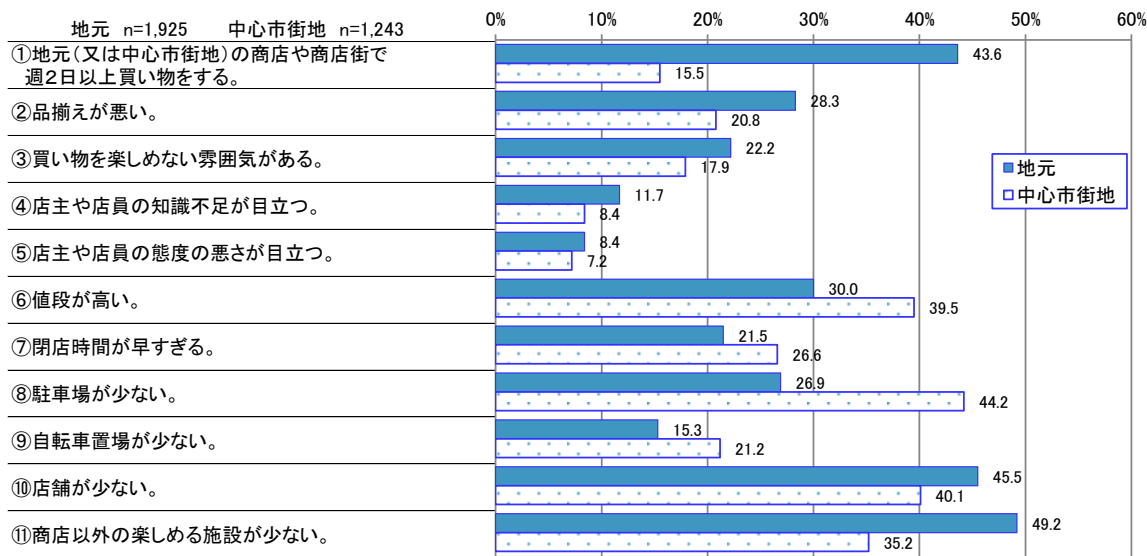
- 四日市市内での買い物についての利便性は、「利便性がよい」と評価している人が、悪いと評価している人よりも多い。



商店・商店街に対する消費者の感想

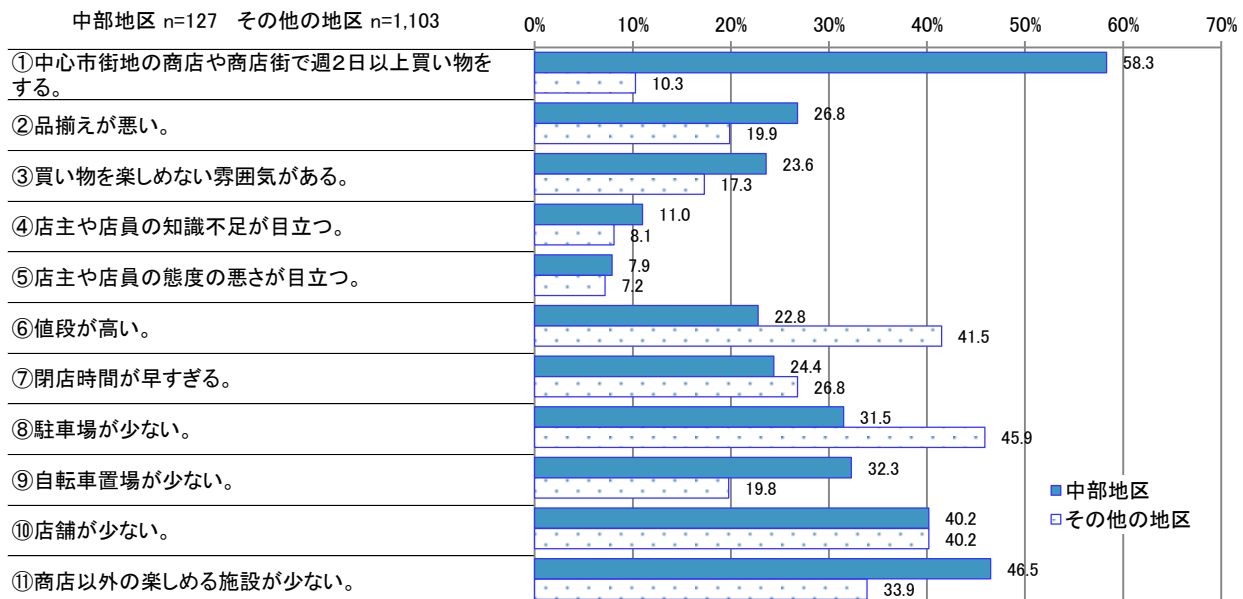
地元と中心市街地の商店・商店街に対する消費者の感想

- 地元と中心市街地の買い物行動は、地元で週2日以上買い物をする人は 43.6%となっており、中心市街地で週2日以上買い物をする人は 15.5%となっている。
- 【地元の商店や商店街が中心市街地を上回る項目】
「品揃えが悪い」(28.3%)、「買い物を楽しめない雰囲気がある」(22.2%)、「店主や店員の知識不足が目立つ」(11.7%)、「店主や店員の態度の悪さが目立つ」(8.4%)、「店舗が少ない」(45.5%)、「商店以外の楽しめる施設が少ない」(49.2%)となっている。
- 【中心市街地が地元の商店や商店街を上回る項目】
「値段が高い」(39.5%)、「閉店時間が早すぎる」(26.6%)、「駐車場が少ない」(44.2%)、「自転車置場が少ない」(21.2%)となっている。



四日市市中心市街地の商店や商店街での買い物について

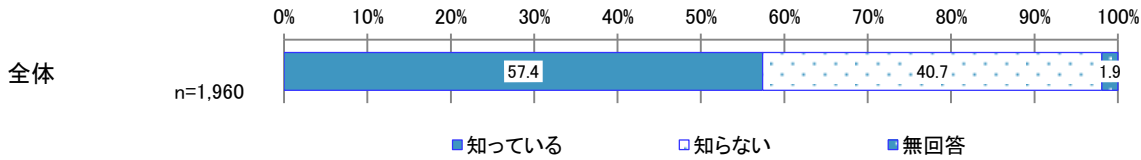
- 居住地区を中部地区とその他の地区に分けて見ると、四日市市中心市街地での買い物に対する感想は、「四日市市中心市街地の商店や商店街で週2日以上買い物をする」(58.3%)、「商店以外の楽しめる施設が少ない」(46.5%)などの7項目で中部地区がその他の地区を上回っており、「駐車場が少ない」(45.9%)、「値段が高い」(41.5%)、などの3項目でその他の地区が中部地区を上回っている。また、「店舗が少ない」はどちらも40.2%と同じ結果となっている。



四日市市の定期市について

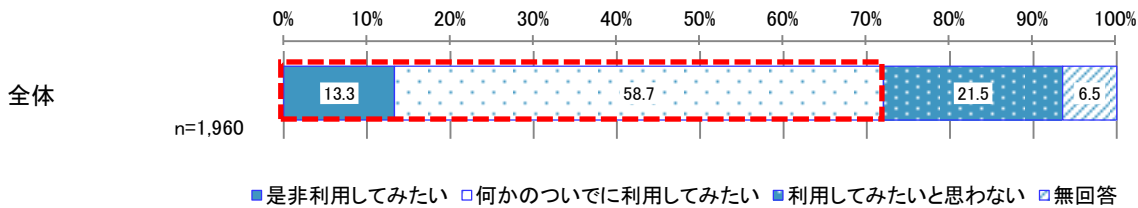
四日市市の定期市の認知度（〇はそれぞれひとつ）

- 四日市市の定期市の認知度は、「知っている」が57.4%と半数以上を占めている。



機会があれば四日市市の定期市を利用してみたいと思いますか（〇はひとつ）

- 四日市市の定期市への『利用意向』は72.0%と半数以上を占めている。



四日市市の定期市がどの様になっていくとよいですか（〇はいくつでも）

- 認知度の向上や集客アピールを求める声が多く、PR活動が課題と考えられる。

